

目標達成計画

作成日: 平成 27 年 12 月 11 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|--|---|--|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 49 | 行事としての外出はあるが、以前より外出の機会が減っている。また、その頻度は入居者により偏りがあり、その日の希望に沿っての外出が行えているとはいえない | これまで外出の機会が少なかった入居者の外出を行う。また、可能な限り本人の希望に沿った外出の支援を行う | <ul style="list-style-type: none"> ① 職員間で業務を連携して行い、外出の時間を作る ② 散歩を定着させ、近隣の方との交流を深める ③ 入居者全員が車でも外出できるように車への車椅子の乗せ方を全職員が習得する ④ 北ふれあいセンター・京山公民館の活用を図る | 12ヶ月 |
| 2 | 35 | 火災だけでなく自然災害を想定しての訓練や地域との協力体制が充分築けていない | 職員一人一人の防災への意識を高め、いざという時にあわてず対応できるように日頃からシミュレーション・訓練を行う | <ul style="list-style-type: none"> ① 避難口・消火器の場所・緊急時の連絡体制等をカンファレンス時に確認していくことの継続 ② 水害などの災害に備え、1階から2階への避難誘導訓練を継続 ③ 定期的に備品の整備・備蓄を点検(電池・飲料水・保存食など)を実施する ④ 水害時の対応を確認する | 12ヶ月 |
| 3 | 2 | 外出が減っている分、外部との交流やつながりが持てるようにしていく必要がある | 外に出ていくことだけでなく、行事などを通してボランティアや地域の方にお越しいただき、グループホームの中で交流が持てる工夫をしていく | <ul style="list-style-type: none"> ① 家族会の際、地域の方や学生ボランティアにも参加してもらうようにする ② ご家族やボランティア団体に依頼し、レクとして楽しめるようにする ③ 学生ボランティアに話し相手として来所してもらう | 12ヶ月 |
| 4 | | | | | ヶ月 |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。